

# ヒューマンファクターズ入門

選 択

開講年次：2年次前期

科目区分：講 義

単 位：2 単位

講義時間：30 時間

■**科目のねらい**：人間・機械・環境系において人間の諸特性を理解し、人間に優しい環境・システムを設計することは今日重要な課題となっている。講義では、これら人間の諸特性を理解するとともに、どのようにこれらの特性をシステム・環境にすれば人間の生活が健康で快適なものとなるかを人間工学的な視点から考察する。さらに課題を通して人間の諸特性への理解を深める。

■**到達目標**：①人間・機械・環境系において人間（ユーザ）の特性を理解する。  
②ユーザ中心設計、ヒューマンエラーについて理解する。

■**担当教員**：

小宮 加容子

■**授業計画・内容**：

- 第 1 回 ヒューマンファクターズとは
- 第 2 回 人間と機械との調和
- 第 3 回 人間の情報処理過程と認知過程について
- 第 4 回 バーバルコミュニケーションとノンバーバルコミュニケーションの比較
- 第 5 回 ユーザ中心設計
- 第 6 回 ヒューマンエラーの分析と評価
- 第 7 回 疑似装具体験
- 第 8 回 ヒューマンインタフェースデザイン
- 第 9 回 課題（現状調査）
- 第10回 課題（課題発見）
- 第11回 課題（分析）
- 第12回 課題（提案）
- 第13回 課題（検証）
- 第14回 プレゼン準備
- 第15回 プレゼンテーション

■**教科書**：プリントを配布

■**参考文献**：岡田有策「ヒューマンファクターズ概論」慶應義塾大学出版会  
吉川榮和「ヒューマンインタフェースの心理と生理」コロナ社

■**成績評価基準と方法**：授業態度（40%程度）、課題発表（20%程度）、課題成果（40%程度）を総合的に判断し成績を判定する。

評価方法	到達目標		評価基準	評価割合 (%)
	到達目標①	到達目標②		
授業態度	○	○	積極的な姿勢	40
発表	○	○	明快さ、説得力	20
課題・作品	○	○	完成度、新規性	40
出席			2/3以上の出席	欠格条件

◎：より重視する ○：重視する 空欄：評価に加えず

■**関連科目**：ヒューマンファクターズ、ユニバーサルデザイン論、認知科学、ヒューマンケア機器デザイン

■**その他（学生へのメッセージ・履修上の留意点）**：ヒューマンファクターズ入門は、人間工学を基礎とし、関連する幅広い分野の知見を取り入れ、機械と人間との関係をより調和させることを目的とする学問である。この考え方やアプローチの必要性を理解するために、様々な分野に興味を持って講義に臨んで欲しい。